

令和 5 年度 墨田区立両国中学校 経営報告書

校長名 渋谷 俊昌

| | |
|-------------|--|
| 学 校 目 標 | 「風雪に耐えよ」の校訓のもと、文武両道、伝統と品格、世界に羽ばたく両中生 |
| 目 指 す 学 校 像 | ○生徒・保護者・地域から信頼され、生徒が主体の文武両道が実現する学校 |
| 目 指 す 子 供 像 | ○学業に励み、自ら考え、判断し、行動できる生徒 ○やさしく思いやりがあり、たくましく生きる生徒 ○きまりや規律を重んじ、社会生活に適応できる生徒 |
| 目 指 す 教 師 像 | ○生徒の関心・意欲を高める魅力のある授業が展開できる教師 ○生徒の心に寄り添いながら指導できる教師 ○生徒とともに汗し、自己を高めることができる教師 |

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

| 項 目 | 取組目標 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | |
|---------------------------------|--|--|------------|--|--------------|-------------|
| | | 達成状況 | | ○分析 ・改善方策 | 自己評価 について | 改善策に ついて |
| | | 取組指標 | 成果指標 | | | |
| 各 教 科 等 指 導 等 | ○確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。 ①生徒による授業アンケートを分析し、分かりやすい授業を実施する。 ②ふり返り学習や確認テストの取組を実施する。 | ① 3 ② 3 | ① 3 ② 2 | 今年度実施された区の学力調査などでは、よい結果が出ている。また、「主体的に学びに取り組む生徒の育成」をテーマに教員の研修を実施した。その成果が現れているが、教科による差もある。今後も ICT 機器を活用した授業などを更に推進して、確かな学力を育てていきたい。 | ① A ② A | ① A ② A |
| | ○基礎学力の定着を図るために、放課後学習や個別指導等を推進する。 ①SSTを活用した放課後学習教室等を実施する。 ②学習支援員等を活用し学習支援を行う。 | ① 3 ② 3 | ① 2 ② 3 | 一年間を通して、放課後学習教室として両中アカデミーを実施した。また、テスト前には各学年でテスト対策の補習や、3年生には12月から2月まで入試チャレンジ講座を実施した。課題としては、参加人数の確保がある。アナウンスを広げたり声かけしたり、より多くの生徒に実施してもらいたい。 | ① A ② A | ① B ② B |
| | ○社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。 ①進路指導・キャリア教育を計画的に実施する。 ②キャリアパスポートを有効活用する。 | ① 3 ② 3 | ① 4 ② 4 | 7月には55校の上級学校を招いての上級学校合同相談会を実施した。これについては保護者からの評価も高く、生徒の進路実現の一助となっている。また、今年度は久しぶりに2年生で職場体験を実施することができたことは大きな成果である。 | ① A ② A | ① A ② A |
| | ○教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等を行う。 ①「学力向上」をテーマとした校内研修を実施する。 ②若手教員への OJT を実施する | ① 3 ② 3 | ① 2 ② 3 | 「主体的に学びに取り組む生徒の育成」をテーマに年間を通して教員研修を進めることができた。また、若手教員への OJT も校務部を中心に組織的に取り組んでいる。OJT について、定期的には取り組んでいるが、頻度を増やしたり、平日頃からのコミュニケーションが図れるとなおよい。 | ① A ② A | ① A ② A |
| | ○主体的な学びと家庭での学習習慣の確立を推進する。 ①英検、漢検、数検を実施し主体的な学びを実現する。 ②定期考査前の学習計画をもとに家庭学習の確立を実施する。 | ① 3 ② 3 | ① 3 ② 2 | 検定については、3教科とも3回実施し、それに向けての補習も行うことができた。参加人数や合格率も高く、生徒の主体的な学びへと繋がっている。定期考査に向けても継続的に、3週間前からテスト計画を立てることにより、学習に対する意識は高まっている。 | ① A ② A | ① A ② A |
| | 学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等 | ・分析は客観的で改善方策もまとまっている。英、数が苦手な理解しにくいを改善できるとよい。 ・ ICT を活用し英、数、理を好きにする。 ・生徒が自主的に1年間の見通して学習計画を立てられるように、タブレット内のカレンダー等に計画を入れ実行、見直しが習慣化できるとよい。 ・放課後学習の参加人数が、もう少し増える取組を期待します。 | | | | |

様式 4

| 項目 | 取組目標 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | |
|-------|--|--|------------|--|------------|------------|
| | | 達成状況 | | ○分析 ・改善方策 | 自己評価について | 改善策について |
| | | 取組指標 | 成果指標 | | | |
| 生活指導等 | ○問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。 ①生徒会活動等の自主性を強化し規範意識等を養う。 ②いじめ等の未然防止や早期発見、早期対応を徹底する。 | ① 4 ② 3 | ① 3 ② 3 | ○いじめ等の問題行動に対して、学校内で組織的に対応することができた。外部機関の活用と連携も行ってきた。 ○生徒会活動等での自主性の強化が規範意識につながるかは、難しい問題だと感じた。 ・問題行動の予防に向けての学習の機会を増やしていく(第3学年のみの実施だった薬物乱用防止教室の全校実施など) 。生徒会や学級委員会を中心に、生徒同士で呼びかける環境を作り、規範意識の醸成をしていきたい。 | ① A ② A | ① A ② A |
| | ○基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等に取り組む。 ①生徒の実態にあった教材での「特別の教科 道徳」の指導を通し心の教育等を推進する。 | 3 | 4 | ○道徳の授業が計画的に行われ、基本的な生活習慣や社会習慣の確立につなげることができた。 ・来年度も道徳の時間のみならず、様々な場面で、心の教育に取り組んでいく | A | A |
| | ○安全を確保するための取組等を行う。 ①多様な災害を想定した避難訓練を実施する等の取組を充実させる。 | 4 | 4 | ○多様な災害を想定した避難訓練を実施することができた ・来年度は警察署や消防署と連携し、消火器訓練なども含めた訓練を実施していく。 | A | A |
| | ○不登校・登校しぶり生徒の解消を組織的に行う。 ①スクールカウンセラー等との連携を密にし、教育相談機能を高める。 | 2 | 2 | ○スクールカウンセラーや、新たに開設されたSSRを活用し、不登校・登校渋り生徒の解消を図った。 ・SCやSSR担当教員との連絡を、さらに密に行い不登校・登校渋り生徒の解消に努めていく。 | B | B |
| | 学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等 | ・子供の自己実現の場が変わっていくのがどうかと心配なので、学校にこれない子供の対応を考えてほしい。 ・SSWの情報等を積極的に発信してほしい。 ・不登校については各家庭、学校、関係機関との連携が重要なので、引き続き連携に取り組んでいただきたい。 ・民生委員、主任児童委員も守秘義務をもっていますので、いつでもご相談いただきたいと思います。 | | | | |

| 項目 | 取組目標 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | |
|---------|--|------|------|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | | ○分析 ・改善方策 | 自己評価について | 改善策について |
| | | 取組指標 | 成果指標 | | | |
| 学校の管理運営 | ○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。 ①管理職の方針を確実に伝え、組織的な取り組みを行う。 | 3 | 3 | 年度当初に管理職から経営方針がしっかりと示され、それを基に各分掌主任を中心に、日々の教育活動を行っている。運営委員会や職員会議において年度途中であっても課題については共有し改善を図っている。 | A | A |
| | ○子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等を実施する。 ①各アンケートの実施による実態把握のもと学校改善を行う。 | 3 | 3 | 区の学力調査や icheck (総合質問調査) を分析することで、子供の実態を把握してから教育計画を立てている。そして、授業アンケート等を定期的に行い、PDCA サイクルで学校改善に繋げている。 | A | A |
| | ○教育環境・設備等の整備等を行う。 ①校舎内の清掃等、環境美化に努める。 | 3 | 4 | 保護者対象の学校アンケートにおいて、「清掃・環境美化」の項目は、肯定的な評価が多い。日頃からの清掃活動には、力を入れている。 | A | A |

様式 4

| | | | | | |
|---|--|---|---|---|---|
| <p>○体罰、個人情報漏洩等の服務事故を防止する。 ①服務事故防止研修により服務事故を防ぐようにする。</p> | 4 | 4 | <p>服務事故防止については、東京都も墨田区も力を入れており、本校でも毎月の服務事故防止研修を実施し、信頼される学校を目指して取り組んでいる。</p> | A | A |
| <p>学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等</p> | <p>・安心かつ健康的に学習、生活できる環境が整っている。アンケートも定期的の実施され、それを踏まえよい方向へ改善していく取組もなされている。 ・現状を報告されていますが、分析と改善策がなされていないように思います。まずは問題意識のある観察をお願いします。</p> | | | | |

| 項目 | 取組目標 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | |
|---------|--|---|------|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | | ○分析 ・改善方策 | 自己評価について | 改善策について |
| | | 取組指標 | 成果指標 | | | |
| 家庭・地域連携 | <p>○教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等を行う。 ①各たよりや学校ホームページでの情報発信を定期的に行う。</p> | 3 | 3 | <p>・ロイロノートやCOCOOなども活用して、様々な媒体で情報を発信することが出来た。 ・学年だよりの発行が不定期になってしまっていることもあった。定期的に発行するためにも、学年教員で担当を分担する、アイデアを提供する体制が必要と考える。</p> | A | A |
| | <p>○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を推進する。 ①PTA活動への参加や地域の活動への協力を行う。</p> | 2 | 3 | <p>・学校行事などに教員とPTAの方々で協力して取り組むことが出来た。 ・地域のパトロールなどの教員側の参加者に偏りが見られたので、より多くの教員が可能な範囲で地域と関われるようにしていく必要がある。</p> | B | A |
| | <p>○両中ブロック小学校3校、連携幼保園との学びの連続性を重視した交流活動を推進する。 ①幼保小中一貫教育の連絡協議会を中心に交流活動等を充実させる。</p> | 3 | 3 | <p>・全体会や分科会、担当者会議は定期的を実施することが出来た。 ・授業観察や分科会の協議会などの予定が急遽決まることがあったので、見直しをもって早めに周知できるようにする必要がある。また、今年度のことを踏まえて次年度の予定を年度当初にしっかり計画する。</p> | A | A |
| | <p>学校関係者評価委員会の評価委員による、学校運営の改善に向けた実際の取組についての意見等</p> | <p>・地域と中学生のつながりを考えてもらいたい。 ・地域の情報を学校でも発信、紹介していく。 ・教員の業務量を考えると地域連携は難しいと感じますが、先生方や保護者以外の大人に見守られ育ててもらい経験は生徒に取りかけがえがないものなので、PTAを通じて実現できるとよい。 ・部活動の地域移行ということもあり、地域とのつながり関わりが今後もっと重要になってくると思いますので良好な関係が築けるように努めてほしいです。</p> | | | | |

2 令和5年度学校評価のまとめ

| |
|---|
| <p>・保護者アンケートや生徒による授業評価ともに、質問に対しての肯定的な回答が80%程度のものがほとんどで、学校関係者の評価は各項目についてほとんどが「妥当・適切である」との結果であった。 ・保護者アンケートの各項目の中で課題があったものは、「服装・持ち物のきまり」「落ち着いた学校生活」に関することである。次年度に向け、引き続き学校生活のきまりの見直しの検討を行っていきたい。また、不登校・登校しぶりの解消について自己評価の中で課題となっているので、学校全体で組織的に改善していく必要がある。 ・来年度も保護者や地域と学校がよいコミュニケーションをとり連携できるように、引き続き教育内容の充実のためのご意見をいただき、改善と充実を図っていく。</p> |
|---|

以上の通り報告いたします。

墨田区立両国中学校長 渋谷 俊昌 公印